

10月18日 全校集会

おはようございます。今朝は、寒さを感じる朝でしたね。

10月も半分が過ぎました。今の学年も、残り半分の切りました。

先週は、一泊移住や全校遠足など大きな行事がありました。

これからは、修学旅行や学習発表会や文化発表会などまだまだ忙しくなりますが、皆さんはそんな学校生活を通して、毎日少しずつですが、確実に成長しています。先生も、皆さんが努力する姿を頼もしく感じます。咲洲みなみの子どもたちが、みんなが幸せになってほしいなあと思っています。

さて、皆さんは、「やさしさの練習」ってどんなものだと思いますか。

人にやさしくするのはその人の心の問題だから、訓練や練習ではないと思いますよね。

この間、やさしさにまつわる、こんな話を聞きました。

どこかに出かけるときにタクシーを使うことがあります。運転手さんは、運転が上手なはずですが、道を間違えたり、予定よりも遅く到着してしまうこともありますね。そんなとき利用していたお客さんは、イライラしたり腹を立てて怒ったりしてしまいます。

けれど、「くまモン」を開発した小山薫堂さんは「しめたっ!やさしさの練習ができるぞ。」と考えるそうです。

運転手さんも人です。人は、間違えたり失敗したときは、心の中で「どうしよう、どうしよう」と不安な気持ちになります。そんな時に、面白い話をしたり、大丈夫だよ!と励ましたりするそうです。

すると、その運転手さんもホッとして、安心して落ち着いて運転できますね。幸せな気持ちになると思います。運転手さんが幸せな気持ちなら、次に乗る人にも、温かい声をかけられて、優しさをあげられます。このように、どんどん優しさがつながっていくといいなと思うそうです。すごいことですね。

「腹が立った時ほど、人にやさしくする」

なかなかできないけれど、やさしさの練習だと自分に言い聞かせるそうです。そうしていると、初めは嫌々だったり、無理やりだったりした優しい行動が、そのうち当たり前になって、優しくするのが自然にできる自分になれるそうです。先生も、ぜひそうなりたいと思います。

これから先は、学校行事もたくさんありますし、しないといけない勉強も増えてきます。

…早く準備しないといけない、片付けも宿題も…と忙しくなると、人といがみ合ったり、意見が合わないなどと、イライラしてしまいがちになるかもしれません。

さあ、そんな時こそ、少しだけ自分の気持ちを抑えて、皆さんが「やさしさの練習」をしてくれることを期待します。

以上